

(2)①国民に対して呼びかける具体的な地球温暖化防止行動について、別紙に掲げる「6つの取組」を基にして、効率的・効果的に普及啓発し行動に結びつける。なお、特に以下の3つの取組に重点を置く。

～基本仕様書～

- i) 「(Act1)温度調節を通じた削減」について、「WARM BIZ」の普及・定着と19年度夏の「COOL BIZ」の普及・定着の準備をする
- ii) 「(Act4)商品選択を通じた削減」について、買換時の省エネに配慮した製品選択を促進する。
- iii) 「(Act5)ゴミを通じた削減」について、レジ袋等を削減すること及びそのためにエコバッグやふるしきの利用を促進する。

※平成18年度地球温暖化防止大規模「国民運動」推進事業 基本仕様書より(平成18/7/28)

### 「6つの取組の普及・定着と行動促進」にあたって

- ・ 1年半にわたって「取組1./4./5.」を促進してきた経験からいえる成功のポイントは、企業・団体との連携では事前交渉と実施準備は長く入念であればあるほどいい、という至極当たり前の結論です。そこで、博報堂は既に後期の事前準備はもちろん、「COOL BIZ」をはじめとする平成19年度の仕込みも始めています。
- ・ しかし、事前交渉の際に「この取組は来年以降も続くのでしょうか？」という確認を受けることも増えてきました。
- ・ 様々な連携によって6つの取組を普及・定着させるのに必要なのは、「政府の本気感」。これこそが、チーム・マイナス6%を成功させたメカニズム：テコの原理の“テコ”にあたる、最も重要なポイントであり、その象徴となるのが環境大臣です。
- ・ このうねりを途切れさせないためにも、我々はこの「政府の本気感」をテコとする戦略を継続していきます。そのためには、新大臣デビューというニュースを最大限に活かす情報戦略を組み立て、「WARM BIZ」をはじめとする様々な啓発活動が継続されることを広く伝えていきます。

①- i) 「取組1: 温度調節を通じた削減」について

WARMBIZ

20℃



暖房時の室温は20℃に設定しよう

チーム・マイナス6% [www.team-6.jp](http://www.team-6.jp)

COOLBIZ

28℃



冷房は28℃に設定しよう

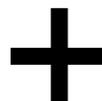
チーム・マイナス6%

WARM BIZ

継続（18年度前期の成果）

継続点：

「COOL BIZ」が、さまざまな企業団体で実施され、平成18年度後期、連携施策実施のためのベース作りができた。前期からスタートした「WARM BIZ」への連携協力依頼を引き続き行う



（昨年からの）進化

**進化点1：「幅広いターゲットが参加を可能に」**  
「WARM BIZ」は「COOL BIZ」では十分展開できなかった、主婦/高齢者/子供まですべての人々ができる地球温暖化防止アクションとする。まさに男性勤労者のワークスタイル変革から、すべての人のライフスタイルの変革へ。

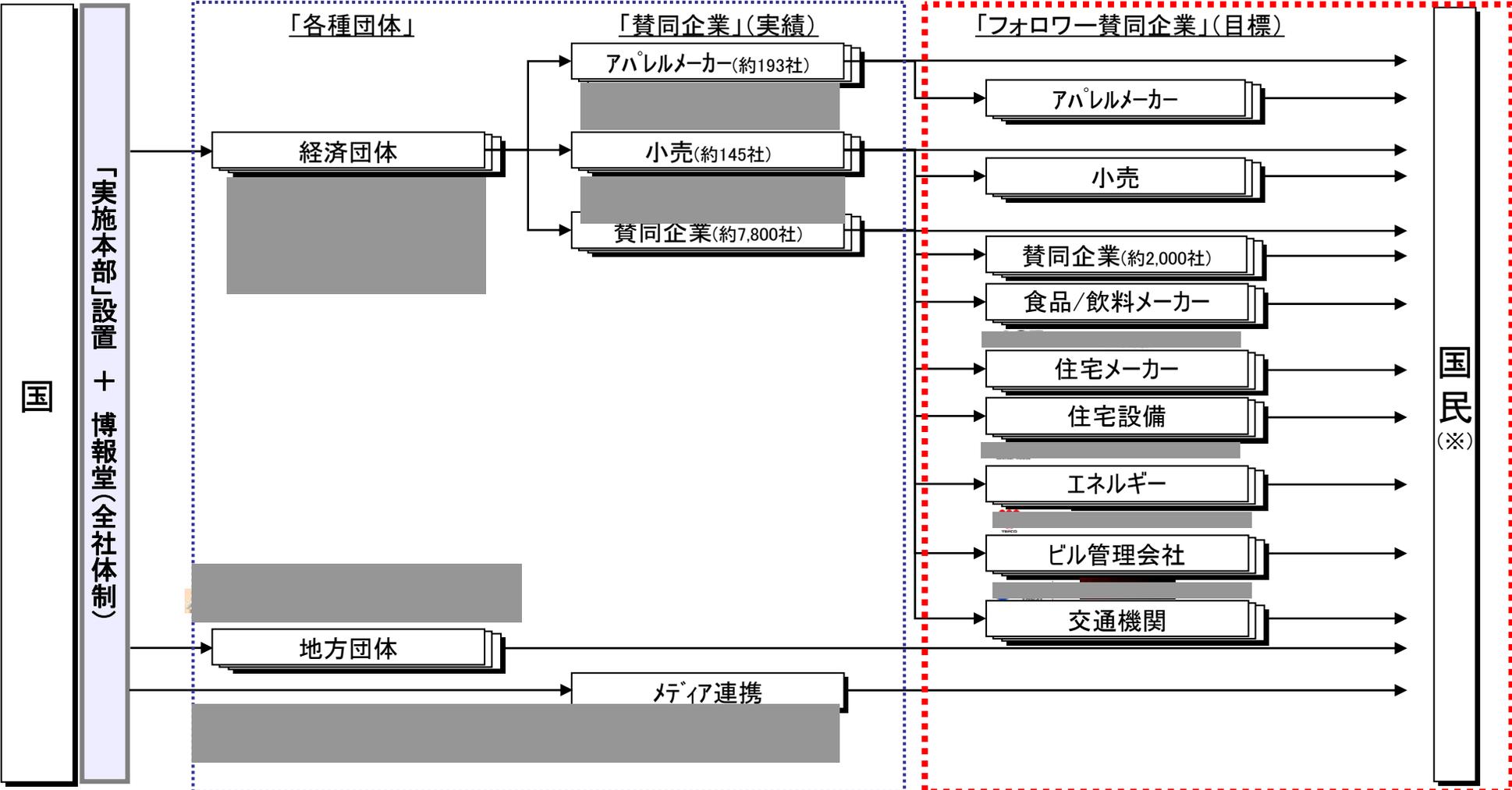
**進化点2：「家の中の身近な共感を得る」**  
すべての人が自分ごととして危機意識を持って共感して自然にアクションを起こせるように“家”を基点とした施策の工夫をする。

**進化点3：「行動へ動かす身近な危機意識」**  
どのようにして自分ごととしてアクションするかは、まず自分の活動している地域、地元の温暖化の現象と影響を知ること。その上で、地元のエコライフの工夫も広く知ってもらう。

# ①- i ) 「WARM BIZ」における連携企業・団体の拡大

平成18年度後期は衣・食・住総合ライフスタイル訴求及び「環境技術」との連携の実施や賛同企業での「WARM BIZ」実施を、オフィスだけでなく家庭内へ拡大を行います。

図表.「WARM BIZ」における連携拡大図



※ターゲットについてはイ計画詳細の個別施策を参照

平成18年度前期迄に展開した領域
平成18年度後期までに既に連携準備のできている業界

## COOL BIZ

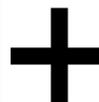
### 継続（18年度前期の成果）

**継続点1:**  
テコノ原理を活用した「COOL BIZ」の浸透メカニズムを来年度も継続。

**継続点2:**  
地方のメディアとの連携による、「COOL BIZ」の地方への浸透の引き続き実施し、地方での完全定着を目指す。

**継続点3:**  
来年度にむけて、賛同企業・団体への継続依頼の実施

**継続点4:**  
実施本部の声がけによる、様々な「COOL BIZ」の自主的な取組の企画提案や来年度へのむけた仕込みの準備



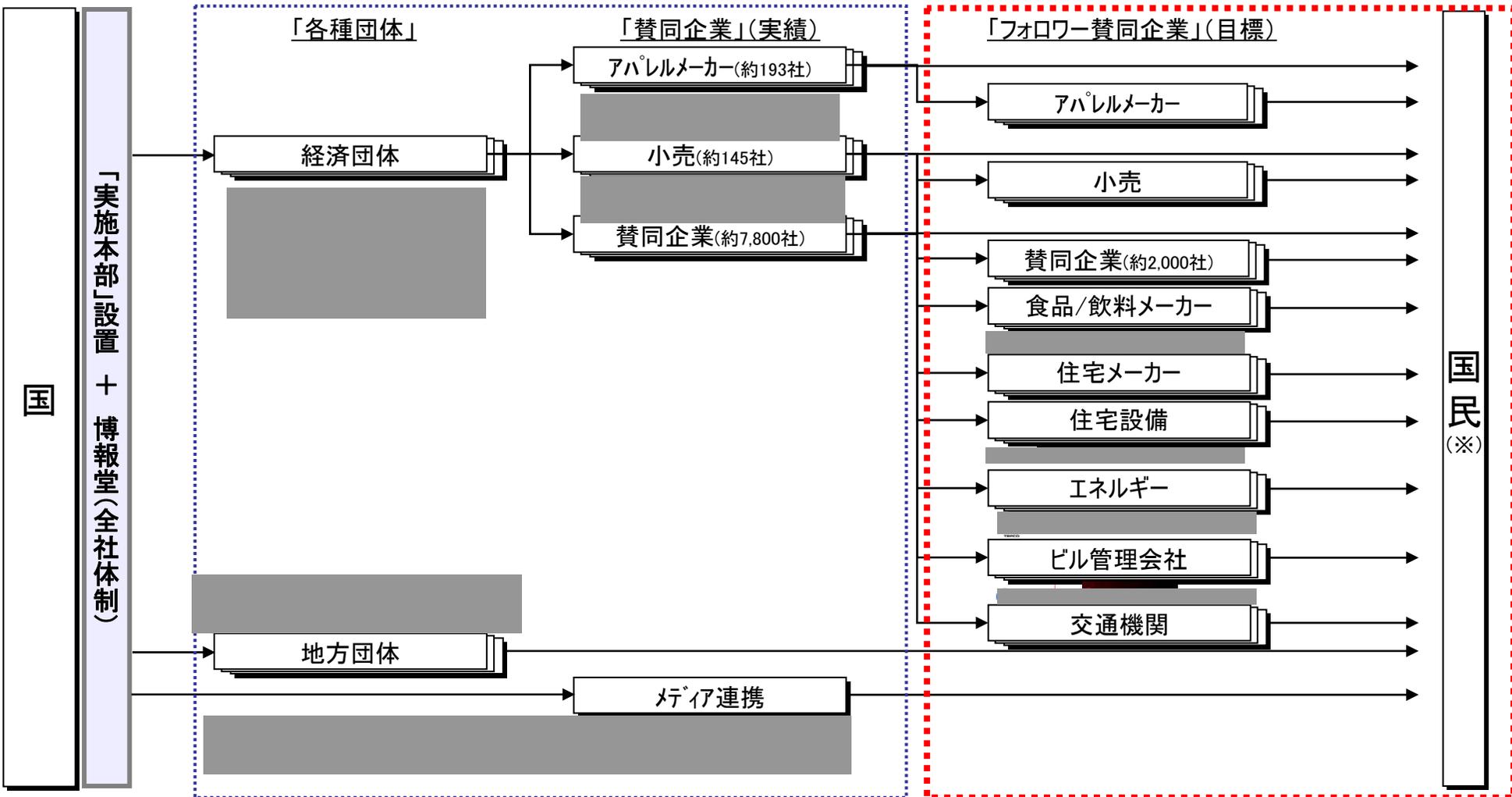
### （来年にむけての）進化

**進化点1: 「次フェーズの“COOL BIZ”へ」**  
来年は、夏季の「取組」から「常識」が完全定着する年。さらには次の「COOL BIZ」への進化を図る年でもあり、それは、平成18年後期「WARM BIZ」からの継続で、ワークスタイル変革からライフスタイルの変革へ衣食住分野との連携拡大を目指す

# ①-i): 「COOL BIZ」における連携企業・団体の拡大

平成19年度、「COOL BIZ」はオフィスだけでなく家庭内への拡大も行っていく予定です。そのスキームについては、後期行う「WARM BIZ」の知見を活かし広げていきます。

図表平成19年「COOL BIZ」実施に向けた連携企業・団体の拡大



※ターゲットについてはイ)計画詳細の個別施策を参照

平成18年度前期迄に展開した領域
平成18年度後期までに既に連携準備のできている業界